

---

# 君と僕の歩く道

澪

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君と僕の歩く道

### 【NNコード】

N6178Z

### 【作者名】

澪

### 【あらすじ】

恋がしたくて、たまらない高校生、月原美織。

新しい出会いが欲しくて胸を膨らませていた。

そして、美織が恋した先輩、

滝流星。

美織と流星の純愛物語。

## 田舎ごと（前書き）

はじめまして。

澪です

処女作ですが、よろしくお願ひしますー。

## 出会い

「プロローグ」

どうして、こんなにも辛いんだろう。

好きな気持ちは君には届かないのかな?

私は、幸せになれないのかな?

誰か…

教えてよ。

第一章、出会い

桜の舞う坂道。

私は、ゆっくりと慣れない通学路を登る。

高校生になる。

恋がしたくて、新しい出会いを楽しみにしている。

恋なんて、くだらないと思つてた。

だけど、中学の頃二年間も好きだつた人がいた。

初恋だつた。

臆病な私は、想いを伝えられないまま、

卒業してしまつた。

だから、

高校生になつたら、素敵な恋がしたい。

ずっとそう思つてた。

そして、ついに入学式。

「桜ヶ丘高校」

私が通う学校。

私が恋を見つける学校。

## 出会いは突然

ガラガラ…

先生が教室に入ってきた。

私は、1年C組。

同じ中学のことはない。

みんな、それぞれ希望する学校が綺麗に別れたらしい。

中には県外の学校に入学する人もいた。

高校から寮生活なんて、考えられなかつたから、

私は、一番近い学校を選んだ。

近いといつても、3駅先の学校だ。

ぼーっと先生の自己紹介を聞いていたら、

隣の女子に話しかけられた。

「名前は？」

人見知りがちな私は、小さい声で、

「月原 美織」

とだけ、答えた。

すると彼女は、

「私、霧島春…春って呼んでね！」

春…

そんな名前にピッタリな可愛らしさだったのでした。

「よろしくお願ひします。美織でいいです、

まだ、心を開けてないせいか、敬語になってしまつ。

「タメでいいからー美織、よろしくー！」

春が笑うと、春の周りはピンク色に明るくなる。

すると先生が、

「じゃあ、先輩たちに学校案内してもいいので、廊下に並ぶよ！」。

「

そつ言い残して、先生は教室を出た。

正直、先輩たちに学校案内してもらひなんて、高校生にもなつてダメだ  
さいと思つた。

春も同じ気持ちみたいだ。

だるいとか、ありえないとか、色々いつてる。

私たちは、静かに廊下に並ぶと先輩たちがやつてきた。

一人ずつ、ペアがつくみたいだ。

私の前にきたのは…

「俺、滝流星。よろしく」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6178z/>

---

君と僕の歩く道

2011年12月20日20時00分発行